

 **今日のゴール** したいことを **want to** で1つ、そのために明日からすることを **try to** で3つ書こう。

STEP 1 お手本を読んで、声に出してまねしよう。

Think Globally I want to save the sea.

Act Locally ① I try to turn off the lights in my classroom.
② I try to use my own bottle every day.
③ I try to walk to school. I don't take the bus.

▼ 読んだ人から Do you want to try No.2 with me? — Yes, I do!

want to は「まだしていないこと」、try to は「もうやっている・明日からやること」。どちらも to のあとは動詞の原形。大きい願いは1文でよく、この紙の仕事はそのあとの3文を教室のサイズまで小さくすること。

STEP 2 使える表現（この中から選んで使おう）

- I want to ~. I try to ~. I don't ~. every day at school / at home use my own bottle [bag]
- turn off the lights eat all my lunch pick up trash save water Do you want to try it with me?

STEP 3 まず日本語でメモしよう（大きいことは1つ、小さいことを場所ごとに1つずつ）。

欄	どこの話か	書くこと（日本語でよい）
Think Globally	地球ぜんたい	
Act Locally	① 学校で	
	② 家で	
	③ 行き帰りで	

STEP 4 メモを英語にしよう（Think Globally は want to で1文、Act Locally は try to で3文）。

✓ お手本と表現バンクを見ながらでOK。まちがいを恐れず、まず書いてみよう。

わたしの Act Locally カード
【つたえる・ふりかえる】

Class _____ No. _____ Name _____

STEP 5 カードを交換して、「自分にもできそうな1つ」を見つけよう。

できたらチェック：

- ☐ ① 4人でカードを回して、だまって読む
- ☐ ② 相手の Act Locally から自分にもできそうな1つに○ (Think Globally には○をつけない。大きい願いはみんな似るので、ちがいは小さい行動に出る)
- ☐ ③ ○をつけた相手に Do you want to try it with me? と聞く → Yes, I do. / Sorry, I want to try No.2.
- ☐ ④ 聞いたことを1文で書く (Ken tries to use his own bottle every day.)
- ☐ ⑤ グループで1つだけ選んで「クラスの Act Locally」にする。黒板に貼って1週間やってみる

自己評価 できたところに ○ をつけよう (正直に！)

ふりかえりの観点	◎ よくできた	○ できた	△ もう少し
① 内容 言いたいことが相手に伝わった			
② 正確さ 習った表現を正しく使えた			
③ 流暢さ あまり止まらずに言えた			
④ 態度 相手を見て、聞こえる声で言えた			

ふりかえり 次はどうしたい？ できるようになったこと・次の目標を1つ書こう。

☆発展チャレンジ！ ①～③の1つを I want to ～. に書きかえよう。try to (もうやってみている) と want to (まだしていない) のちがいが自分のことばで見えてくる。仕上げに look+形容詞 で1週間後の教室を1文 (Our classroom looks nice.)。

先生へ (この教材のねらいと進め方)

ねらい：want to を訳語から「大きい願いを小さい行動に降ろす道具」に変える。Unit 8 のタイトル Think Globally, Act Locally をそのまま紙の骨格にした。導入『したいこと福袋』→定着ドリル→この1枚で中1の不定詞が一本道になり、既存2枚が触れていない try to と look+形容詞 をここで拾う。

この材料を選んだ理由：中1が環境を英語で書くと、ほぼ全員が I want to save the earth. で止まります。原因は語彙ではなくスケールで、地球規模の願いには「次の1文」がありません。STEP 3で場所を3つに割ってあるのが仕掛けで、場所を指定した瞬間に書くことが見つかります。

進め方と見取り：メモは日本語でよく、STEP 4で英語に。STEP 5の④で三単現に戻ります (tries の y→ies も拾えます)。見るのは、to のあとが原形か (I want to a new bag. で止まらないか) / want to と try to を使い分けているか。カードは1週間掲示し、やってみた人がサインを足すと次の帯活動になります。

△ **使う文法の範囲：**NEW HORIZON I では過去形が Unit 9、接続詞 because は中2 Unit 2 の初出です (中1のNEW HORIZONに because はありません)。お手本と表現バンクは現在形・三単現・can・命令文・現在進行形・目的格代名詞だけで組んでいます。「～だから」と書きたがる生徒には文を2つに分けさせてください (I try to walk to school. It's good for the earth.)。

ほかの教科書で：BLUE SKY | Unit 8・Here We Go! | Unit 3 は環境の単元ではないので、Think Globally を「クラスのためにしたいこと」に読みかえてください。場所の3つ (学校・家・行き帰り) はそのまま使えます。